

発行所
解放新聞和歌山支局
 〒640-8314
 和歌山市神前 405-3
 TEL 073-473-2301
 FAX 073-473-2302
 発行責任者
藤本哲史

解放新聞 和歌山版

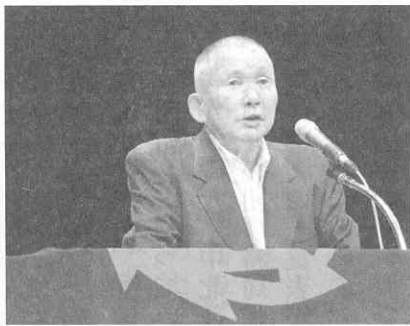
当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!

差別撤廃と産業振興を めざそう 企業連総会

和歌山市民会館小ホールで9月11日、部落解放和歌山県企業連合会第45回定期総会がひらかれ、会員約900人と多くの来賓が参加した。

企業連を代表して、瀧口秀光・理事長から「安倍政権による経済・財政の立直し政策がおこなわれ、円安や株価の乱高下など、国民生活に大きな不安をもたらしている。また「安保関連法案」は衆議院本会議で強行採決された。憲法9条を解釈改憲することは、武力行使を安易にし、戦争を容認することであり断固として反対する。さらに、行政機関への差別問合わせ事件、Y住宅販売会社による土地差別調査事件など悪質



瀧口秀光理事長

な差別事件が続発している。一日も早い「人権侵害救済法」制定が必要である。私たちは、今後も差別撤廃に向けた運動と厳しい日本の経済・社会に企業者が対応できるよう、きめ細かい経営指導をおこない、部落産業の育成と振興にむけたとりくみをすすめていく」とあいさつした。

部落解放同盟から藤本哲史・執行委員長につづき、赤井隆史・中央本部書記次長より「同対審答申」から50年、答申の完全実施をスローガンに、全国一斉行動を展開し法制定を具体化させるための運動をすすめていこう」と激励のあいさつがあった。行政から下宏・副知事、尾花正啓・和歌山市長の祝辞のあと、統一地方選挙で組織内候補として当選した藤本真利子・特別執行委員、石本一也・執行委員、有田市議会選挙で5期目の当選を果たした

辻本意典・執行委員よりお礼と決意表明があった。その後、運営委員会報告、2014年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2015年度活動方針案、予算案など、すべての提案事項が採択され閉会した。

【采覧】
 ◆和歌山県
 下宏・副知事、北山芳宏・参事、田中達也・商工労働政策局長、青木茂二・商工観光労働総務課長、南木芳亮・商工振興課長、田中一寿・労働政策課長

◆和歌山市
 尾花正啓・市長、豊田勝彦・産業まちづくり局長、南方節也・都市計画部長、小嶋義之・商工振興課長、山本彰徳・市民環境局長、和田年晃・環境部長

◆日本政策金融公庫和歌山支店
 金子英一郎・支店長兼国民生活事業統轄、吉田健一・中小企業事業統轄、野村文雄・農林水産事業統轄

◆日本政策金融公庫田辺支店

記念講演には北口末広・近畿大学教授が「差別をなくす社会システムを創造する」と題し、差別撤廃・人権確立のために必要とされる社会システムのあり方や政策について講演された。

「気づきから、はじめよう」を 合言葉に 湯浅町研究会

部落解放第43回湯浅研究会が8月20日から28日までひらかれ、のべ580人が学習した。



第2分科会のようす

- 堀江邦勇・支店長
- ◆和歌山県信用保証協会
西田博章・常務理事
- ◆和歌山商工会議所
上田賢司・理事
- ◆和歌山県商工会連合会
中本篤男・企業支援課課長補佐
- ◆商工組合中央金庫和歌山支店
寺浦浩之・支店長
- ◆紀陽銀行本店
- 小上隆・人事相談室長
- ◆部落解放同盟中央本部
赤井隆史・書記次長
- ◆企業連顧問
仁木靖夫・税理士、橋本義彦・税理士、飯田雅秀・税理士、新井悠喜雄・行政書士、宮本澄磨・融資審査委員
(順不同・敬称略)

差別の実態に、積極的に とりくむ 和歌山市交渉

対和歌山市交渉を8月11日、勤労者総合センターでおこない、支部員ら125人が参加した。

県連から藤本委員長、瀧口秀光・議長のあいさつにつづき、田中博之・事務局長の要請で、尾花正啓・市長から「同対審」答申で出された課題を受け継ぎながら、同和問題をはじめあらゆる差別のない社会の実現に向けて積極的にとりくむ」とあいさつされた。

代表して、木村哲文・副市長から「50年たっても、いまだ差別はなくなっておらず、答申をあらためて確認するといった提案にたいし、市のすべての職員に答申の研修を実施する。職員配置についても同和問題の認識をもった職員を配置すべきだ。差別の実態についても市の職員として積極的にとりくむ」と回答があった。藤本委員長から答申の

また、現業職員の体制について、しんどい時に部落に押し付けておきながら、今年の採用は2人といった状況。他にも新制度の実施についてなど基本要求的交渉を午前中の全体会でおこない、午後から各部署に分かれた4つの分科会で支部要求、統一要求について交渉した。

- ◆第1分科会(8月24日)
「部落差別と障がい者差別解消法について」橋本和弘さん
- ◆第2分科会(8月25日)
「人権と福祉のまちづくりについて」阪井達夫さん
- ◆第3分科会(8月26日)
映画「造花の判決」
- ◆まとめ集会(8月28日)
「分科会報告」、「私の歩んだ道」白井幸子さん

頑健

もうすっかり秋。さまざまな情景がロマンチックに表現される季節で、あのどうしようもない「台風」ですら古い言い方では「野分」と表現されている。そういえば、かの政治家の「美しい国・ニッポン」もその実相とは別になにかロマンチックな響きがあるから怖い▼この間のシルバークロウ最終日に、ふと思いつき立ち自転車に乗って、途中何度も悔やみながら和歌山城西ノ丸広場に出かけた。和歌山駅前までのデモに自転車を押しながら参加した。歩道の銀杏並木もボチボチ実を落としていたが、これを避けながらもつい踏んでしまふ。居酒屋で松葉に刺して出される「ギンナン」と思えない臭さである。なんだかんだと思いつきながら30分程で解散地点に到着した▼この日、家を出発する直前のテレビで瀬戸内寂聴と美輪明宏の長崎での対談番組を観た。「殺しても殺されてもダメだ」と寂聴さん。「昔、家で働いていた青年の出征を見送るお母さんの姿と青年の顔は今でも忘れられない」と美輪さん。ふたりは、満席の聴衆に「平和が一番」行動をしながら「と呼びかけていた▼私たちがの国には四季があり、万物を美しい言葉で表現する。その背景には、庶民と呼ばれる多くの人が汗を流し働き、幸せに生きようと頑張っている姿がある。その庶民に「理解が足りない」という美しくない人たちが、

闘いはこれからである。(S・I)